

- 1 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないで下さい。
- 2 下記の(1)～(5)の選択科目の中から1科目を選択して下さい。

(1) 歴史総合，日本史探究(1～10ページ)      (2) 歴史総合，世界史探究(11～19ページ)  
 (3) 地理総合，地理探究(21～34ページ)      (4) 公共，政治・経済(35～52ページ)  
 (5) 数                  学(53～60ページ)

- 3 解答用紙の所定欄に記入，マークする際は以下3点の確認を必ず行って下さい。
  - (1) 受験番号の記入とマークのチェック
  - (2) 氏名とフリガナの記入
  - (3) 選択科目名の記入と選択科目のマークのチェック
- 4 解答は，解答用紙の問題番号に対応した解答マーク欄にマークして下さい。解答用紙は，全科目共通になっていますので，**科目によっては使用しない問題番号**も含まれています。
- 5 解答時間は**60分**です。
- 6 解答用紙は必ず提出して下さい。
- 7 問題冊子は持ち帰って下さい。

数字の位置に注意してマークして下さい  
ゼロは一番上にあります

| 受験番号 |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|
| 1    | 9 | 7 | 0 | 5 |
|      | 0 | 0 | ● | 0 |
| ●    | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2    | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 3    | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4    | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 5    | 5 | 5 | 5 | ● |
| 6    | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 7    | 7 | ● | 7 | 7 |
| 8    | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 9    | ● | 9 | 9 | 9 |

1. 解答は、HB の黒鉛筆を使用して丁寧にマークしなさい。
2. 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消しなさい。
3. 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
4. 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

|     |   |     |   |   |   |
|-----|---|-----|---|---|---|
| 良い例 | ● | 悪い例 | ○ | ⊗ | ⊙ |
|-----|---|-----|---|---|---|

 薄いマークは  
読めません

## (2) 歴史総合，世界史探究

この問題はⅠからⅣまであります。解答用紙には問題番号が  から  までありますが，解答に使用する問題番号は  から  までです。

Ⅰ 次のイスラーム世界の成立と発展に関する略年表をみて，以下の問1～問7に答えなさい。

略年表

| 西 暦   | 出 来 事                                             |
|-------|---------------------------------------------------|
| 622年  | ムハンマドらが <input type="text" value="5"/> に移住する<br>① |
| 632年  | (a) <u>正統カリフ時代</u> が始まる<br>②                      |
| 661年  | (b) <u>ウマイヤ朝</u> が成立する<br>③                       |
| 750年  | (c) <u>アッバース朝</u> が成立する<br>④                      |
| 756年  | (d) <u>後ウマイヤ朝</u> が成立する<br>⑤                      |
| 868年  | トゥールーン朝が成立する<br>⑥                                 |
| 909年  | (e) <u>ファーティマ朝</u> が成立する<br>⑦                     |
| 932年  | ブワイフ朝が成立する<br>⑧                                   |
| 1130年 | ムワッヒド朝が成立する<br>⑨                                  |

問1 次の1～4の出来事が起こった時期を，略年表中の①～⑨の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。なお，同じ番号を2回以上選んでもよい。

1 サーマーン朝が成立する

2 西ゴート王国が滅亡する

3 ニハーヴァンドの戦いがおこなわれる

3

4 タラス河畔の戦いがおこなわれる

4

問2 空欄 5 に入るのはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① メディナ      ② メッカ      ③ イエルサレム      ④ アレクサンドリア

問3 下線部(a)に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

6

- ① この時代にメッカを征服した。  
 ② 初代カリフがササン朝を滅ぼした。  
 ③ 征服地には軍営都市(ミスル)が統治の拠点としてきずかれた。

問4 下線部(b)に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

7

- ① ムアーウィヤがダマスクスを首都としてこの王朝をひらいた。  
 ② トゥール・ポワティエ間の戦いでカロリング朝の宮宰カール＝マルテルに敗れた。  
 ③ 地中海方面に進出してイタリア半島の東ゴート王国を滅ぼした。

問5 下線部(c)に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

8

- ① この王朝はハールーン＝アッラシードによって建国された。  
 ② 第2代カリフによってティグリス川中流域にバグダードが新たに建設された。  
 ③ この王朝はバトゥ率いるモンゴル軍によって滅ぼされた。

問6 下線部(d)に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

9

- ① この王朝の都はマラケシュにおかれた。  
 ② この王朝ではアブド＝アッラフマーン3世の時代に最盛期をむかえた。  
 ③ この王朝のもとでイブン＝ハルドゥーンが『世界史序説』をあらわした。

問7 下線部(e)に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

10

- ① シーア派を奉じるイラン系の軍事政権で、アッバース朝カリフの権威を認めた。  
 ② バグダードを占領してここに都をおいた。  
 ③ この王朝ではイラン人の宰相ニザーム＝アルムルクのもとでイクター制が始まった。

## Ⅱ 次の文章を読み、以下の問1～問10に答えなさい。

ルネサンスはイタリアで始まった。初期のルネサンスの中心は<sup>(a)</sup>フィレンツェであった。

まず文学では、13世紀半ばに生まれた<sup>(b)</sup>□12が、当時知識人の共通語であったラテン語ではなく、日常使われていたトスカナ地方のイタリア語で人間の生をいきいきと描いた作品をあらわしてその先駆となった。15世紀後半になると、絵画では、ギリシア神話から着想を得て「ヴィーナスの誕生」を描いた<sup>(c)</sup>□13や「万能人」の典型とされたレオナルド＝ダ＝ヴィンチが活躍した。16世紀になると、教皇たちがラファエロや<sup>(d)</sup>ミケランジェロなどの芸術家をローマに招いたことで、ローマがルネサンスの中心となった。

1494年にフランス軍のイタリア侵入で始まった<sup>(e)</sup>イタリア戦争は16世紀半ばまで続いた。その渦中において『君主論』をあらわしたマキアヴェリは、政治を道徳や宗教とは切り離し、人間社会の現実を踏まえたうえで、現実主義的な統治を追求する必要性を説いた。

15世紀末から16世紀初頭にかけてイタリアに留学したポーランドの聖職者<sup>(f)</sup>コペルニクスは、1543年に『天球回転論』をあらわして地動説を主張した。

15世紀後半にネーデルラントに生まれ西ヨーロッパ各地を遍歴した<sup>(g)</sup>エラスムスは、ヒューマニズム（人文主義）の立場から聖書の研究を進め、ギリシア語原典による『新約聖書』を刊行した。また16世紀から17世紀初めにかけて、<sup>(h)</sup>フランスやスペインでもルネサンス文学が誕生した。

ルネサンス期には科学や文芸だけでなく技術も発達した。<sup>(i)</sup>この時期に改良された技術はルネサンス後のヨーロッパを大きく変えていった。

問1 下線部（a）についての次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ④をマークしなさい。

□11

- ① この都市では、メディチ家が多く学者や芸術家を後援した。
- ② この都市は、毛織物業や金融業などで繁栄した。
- ③ この都市は、ピサと同様の海港都市だった。
- ④

問2 空欄□12に該当する人物があらわした作品はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

□12

- ① 『神の国』
- ② 『デカメロン』
- ③ 『叙情詩集』
- ④ 『神曲』

問3 空欄□13に該当する人物はだれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

□13

- ① ブリュゲル
- ② ボッティチェリ
- ③ ジョット
- ④ ドナテルロ（ドナテッロ）

問4 下線部（b）についての次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ④をマークしなさい。

□14

- ① 彼は、絵画の制作に遠近法を取り入れた。
- ② 彼は、サン＝ヴィターレ聖堂の設計をおこなった。
- ③ 彼は、フランス国王から招へいされた。
- ④

問5 下線部(c)についての次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ⑩をマークしなさい。

15

- ① 彼は、「アテネの学堂」を描いた。
- ② 彼は、「ダヴィデ像」を制作した。
- ③ 彼は、「最後の審判」を描いた。

問6 下線部(d)を終結させた条約はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

16

- ① カトー＝カンブレジ条約    ② ローマ条約    ③ パリ条約    ④ カルロヴィッツ条約

問7 下線部(e)に関連する次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ⑩をマークしなさい。

17

- ① これよりも前に、トスカネリが地球球体説を唱えていた。
- ② 教会は、地動説を支持したガリレイを弾圧した。
- ③ この後、ドイツのケプラーが惑星の運行法則を発見した。

問8 下線部(f)についての次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ⑩をマークしなさい。

18

- ① 彼は、『愚神礼賛』で墮落した教会や聖職者を風刺した。
- ② 彼は、『ユートピア』の著者であるトマス＝モアと親交を結んだ。
- ③ 彼の肖像画である「エラスムス像」は、デューラーによって描かれた。

問9 下線部(g)についての次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ⑩をマークしなさい。

19

- ① ラブレーが『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』をあらわした。
- ② モンテーニュが『自省録』をあらわした。
- ③ セルバンテスが『ドン＝キホーテ』をあらわした。

問10 下線部(h)についての次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しければ⑩をマークしなさい。

20

- ① 15世紀半ばにドイツのグーテンベルクが改良した活版印刷は、製紙法の普及と結びつき、大量の情報伝達を可能にした。
- ② 大砲や鉄砲など火器の改良が進むと戦術が大きく変わり、騎士の没落をもたらした。
- ③ 羅針盤が改良されたこともあり、16世紀末からのヨーロッパは「大航海時代」をむかえた。

Ⅲ 次のユーラシア大陸北部に関する略地図をみて, 以下の問1～問10に答えなさい。



略地図凡例



問1 ビザンツ帝国滅亡後, キリスト教の正教圏の中心となった都市はどれか。略地図上①～④の中から一つ選びなさい。

21

問2 16世紀末に略地図上①の線の範囲内を支配した国について, 同世紀のこの国に関する次の①～③の説明の中で, 正しいものがあればその番号を一つ選び, すべて誤りであれば④をマークしなさい。

22

- ① ミハイル＝ロマノフがツァーリの称号をはじめて正式に用いた。
- ② コサックの首長イェルマークの協力を得てシベリア進出に着手した。
- ③ モンゴルの支配下で徴税を請け負って台頭し, ロシアを統一した。

問3 略地図上①の都市を建設した人物に関する次の①～③の説明の中で、誤りを含むものがあればその番号を一つ選び、すべて正しい場合は④をマークしなさい。

23

- ① 北方戦争でノルウェーに勝利してバルト海地域へ進出した。
- ② 西欧化政策を進め、先進技術の導入につとめた。
- ③ 不凍港を求めてアゾフ海周辺へ進出した。

問4 18世紀後半に略地図上アの周辺で農民反乱がおきたとき、この地域を支配していた国の君主に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

24

- ① 略地図上イの周辺をスウェーデン、プロイセンとの分割によって獲得した。
- ② 略地図上ウの周辺を、オーストリアから奪った。
- ③ 略地図上エの周辺などの探検のため、ベーリングを派遣した。

問5 略地図上②の線は略地図上aの都市で結ばれた条約による国境線をしめし、略地図上③の線は略地図上bの都市で結ばれた条約による国境線をしめしているが、このaとbそれぞれの都市はどれか。次の①～⑥の中から一つ選びなさい。

25

- ① a = キャフタ                      b = ネルチンスク
- ② a = ネルチンスク                b = トルコマンチャーイ
- ③ a = トルコマンチャーイ        b = キャフタ
- ④ a = ネルチンスク                b = キャフタ
- ⑤ a = トルコマンチャーイ        b = ネルチンスク
- ⑥ a = キャフタ                      b = トルコマンチャーイ

問6 略地図上Aの国に関連する19世紀の説明として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

26

- ① ナポレオンとアミアン条約を結び講和するが、その後反フランスに転じライプツィヒの戦いでナポレオンを破った。
- ② アレクサンドル1世の提唱した神聖同盟には、イギリス国王は参加しなかった。
- ③ ビスマルク体制に加わり、ドイツとの間に三帝同盟やその後の三国同盟を結んだ。
- ④ 血の日曜日事件がおき、十月勅令で国会(ドゥーマ)の開設が約束された。

問7 略地図上オの周辺を19世紀中頃までに支配下においた国が、19世紀後半に保護国としたのは略地図上C～Eの国のうちどれで、その名称はなにか。次の①～⑥の中から正しい組み合わせを一つ選びなさい。

27

- ① C・ブハラ＝ハン国                      ② D・ヒヴァ＝ハン国                      ③ E・キプチャク＝ハン国  
④ C・キプチャク＝ハン国                      ⑤ D・ブハラ＝ハン国                      ⑥ E・ヒヴァ＝ハン国

問8 略地図上Aの国が、19世紀後半に清朝と結んだ条約に関する次の①～③の説明の中で、正しいものがあればその番号を一つ選び、すべて誤りであれば④をマークしなさい。

28

- ① 1860年の北京条約で略地図上カの周辺を獲得した。  
② 第2次アヘン戦争に乗じてアイグン条約を結び略地図上キの周辺を獲得した。  
③ イリ事件の後、イリ条約により略地図上cの都市とその周辺を清朝に返還した。

問9 1875年に結ばれた条約により、略地図上Bの国が、千島列島全体を自国の領土とする代わりに相手国の領土として認めた略地図上の地域はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

29

- ① ク                      ② ケ                      ③ コ                      ④ サ

問10 1891年に建設が開始されたシベリア鉄道は、完成時において路線の東端を略地図上dの都市としているが、この都市はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

30

- ① ウラジヴォストーク（ウラジオストク）                      ② イルクーツク  
③ ヤクーツク                      ④ ハルビン

Ⅳ 次の東アジア近代史に関する 31 ～ 40 の文①・②の正誤を判断し、下の例にしたがってマークしなさい。

例

- ①のみが正しい場合……………①  
 ②のみが正しい場合……………②  
 ①・②ともに正しい場合……………③  
 ①・②ともに誤りの場合……………④

31

- ① 日本と清朝が対等な関係で結ばれた日清修好条規によって、朝鮮は清朝の朝貢国から独立国となった。  
 ② 琉球漂流民殺害事件がおきると、日本は台湾に出兵し、ここを清朝より割譲させた。

32

- ① 18世紀の琉球王国は薩摩藩の支配を受けつつ、中国の王朝にも朝貢していた。  
 ② 琉球王国を廃して琉球藩とした日本政府は、日清戦争中に琉球藩を沖縄県とした。

33

- ① 朝鮮では、欧米諸国からの開国要求に対し、高宗の摂政であった大院君はこれを拒否した。  
 ② 明治維新後の日本は江華島事件をきっかけに、不平等条約である日朝修好条規を結んだ。

34

- ① 朝鮮では、軍隊が閔氏を擁立して大院君と日本公使館を襲撃すると、清軍がこれを制圧し、清朝を後ろ盾にして主導権を握った大院君が優勢となった。  
 ② 朝鮮では、開化派の金玉均と朴泳孝らが日本の支持を得てクーデタをおこしたが、清軍によって鎮圧された。

35

- ① 朝鮮で甲午農民戦争がおこると、清朝と日本が出兵した。  
 ② 日清戦争で勝利した日本は、下関条約を結び、東清鉄道の敷設権を獲得した。

36

- ① 下関条約が締結されると、ロシアは、フランス・ドイツとともに、遼東半島の清朝への返還を日本に要求した。  
 ② 日清戦争後、閔妃が駐朝鮮日本公使らにより殺害された。

37

- ④ 日清戦争に敗れた清朝では，康有為や梁啓超らが光緒帝とともに近代国家建設をめざす改革がおこなわれ，憲法が制定され，議会も開設された。
- ⑤ 19世紀末，清朝の弱体化に乗じて列強は中国への進出を開始し，ドイツは膠州湾を，ロシアは旅順・大連，イギリスは広州湾と九竜半島（新界），フランスは威海衛を租借した。

38

- ④ 義和団戦争では，清朝の西太后らは列強に対して宣戦布告をおこなった。
- ⑤ 日本とロシアを中心とする8か国連合軍は，清軍と義和団を破って北京を占領し，列強と清朝との間で北京議定書（辛丑和約）が結ばれた。

39

- ④ 第2次日韓協約（韓国保護条約）を結んだ日本がロシアと開戦すると，イギリス・アメリカが財政面などで日本を支援した。
- ⑤ ニコライ2世が退位したロシアは，アメリカ大統領のセオドア＝ローズヴェルトの仲介を受け入れ，アメリカで日本との講和会議にのぞんだ。

40

- ④ ポーツマス条約で，日本はロシアに韓国での優越権，サハリン全体の割譲などを認めさせた。
- ⑤ ポーツマス条約では日本は賠償金を得られなかった。

歴史総合，世界史探究の問題はここまでです